

第6学年 総合的な学習の時間 学習指導案
単元名「考えよう 伝えよう 未来の浄法寺」～浄法寺PR“うまいもん”プロジェクト～

日 時 平成29年9月29日(金)
場 所 二戸市立浄法寺小学校 6年教室
児 童 6学年(男子6名・女子12名)
指導者 瀧澤 紀子

1 児童と単元について

(1) 児童について

子どもたちは、3年生で伝統芸能や地域の宝物について、4年生で「身近な自然」や「やさしい町づくり」、5年生では「葉たばこ」や「漆」など浄法寺町の産業について学習してきた。目的の場所へ出かけ現地調査をしたり、詳しい方に話を聞いたり、実際に体験したりするなどの活動を通し、自分たちの住む浄法寺町の自然や文化の素晴らしさに気付き、誇りに思い、未来へ引き継いでいきたいという思いをもつことができた。しかしこれまでの活動で、集めた情報を分類・整理する力、大事な情報を判断・選択する力、他者とコミュニケーションを図ったり思いを伝えたりする力、適切な表現方法を考えまとめる力はまだ十分とは言えない。

6年生になり、修学旅行で訪れた仙台市について、街並みや観光地・観光客の様子、誘客のしかけなどを見たり探ったりしながら、浄法寺のPRに活かせることを考える学習に取り組んだ。年間多くの観光客が訪れる仙台市と比較しながら、「浄法寺に残したいことは何か」「浄法寺のPRに活かせるようなことは何か」「どんな方法でPRしたいか」と考えてきている。また、夏休みに訪れた先の観光名所や歴史、特産物や宣伝キャラクターなどにも興味をもっており、関心が高い児童が増えていることが分かる。

(2) 題材について

二戸市浄法寺町は人口4163人(平成29年5月1日現在)面積179.7km²、多くを自然に囲まれた地域であり、全国的に漆と天台寺が有名である。浄法寺の漆は、良質で、漆器だけでなく平泉の中尊寺金色堂や日光東照宮、金閣寺の大修復など、国宝や重要文化財の修理修復に使用されている。また、瀬戸内寂聴が住職であったことでも有名な北東北の古刹天台寺の例大祭では、今でも多くの観光客が訪れる。さらに、神楽・獅子踊りなどの伝統芸能、伝統文化の相撲、自然を生かした葉たばこ産業など、たくさんの残したい宝を有する。しかし、浄法寺町は過疎地域と指定されている二戸市のまさに過疎化進行地域であり、少子高齢化やそれに伴った地元高校の閉校、人口流出、雇用の場の不足、産業の後継者不足といった多くの課題を抱えているのが現状である。

本単元では、「浄法寺PR“うまいもん”プロジェクト」として浄法寺のよさを伝えるパンの商品開発を行う。短期間での商品化の協力を得られる「ほほえみ工房(パン屋)」さんに依頼し、二戸市や盛岡市での出張販売を行いたいと考えている。商品化という活動を組むことで、自分たちの好みだけでなく、浄法寺のよさを伝えられる商品であることや相手(消費者)を意識し、子どもたちが主体となって学習活動を進めていくことが期待できる。また「浄法寺の何を伝えるか」「伝えたいことをパンにどう表すか」「対象の人はだれか」「活かせる食材はないか、それは何か」という目的に応じた整理・分析をしたり、話し合った企画をプレゼンしたり、PR活動を行ったりする表現活動など、探究的な学習のプロセスを組み込むことも可能である。必要な情報を身近な人から集めたり、それぞれで考えた企画を多面的に検討したりすることは、協働的な学習の場、コミュニケーションの機会として生かすことができる。また自分たちだけの力ではできないことも、お店の人たちの力を借りることで商品化が可能になることを知り、外部の力を活用することの重要性を学ぶ機会ともなる。さらに浄法寺の大切にしたいことやもの、よさについての理解を深めることは、自分と浄法寺との関わりを深め、浄法寺の未来を担う一人としての自覚を促すことにもなり、学びながらふるさと浄法寺に愛着をもち貢献しようとする気持ちを育てることができるといえる点で価値ある題材であると考えている。

2 指導にあたって

(1) 単元構想について

本単元では、仙台市を参考にして浄法寺をPRする方法を主体的に考え、浄法寺のよさを伝えるための企画を立てたり、よさを発信したりする活動を設定する。まず、子どもたちが「浄法寺に残したいもの(こと)、引き継いでいきたいもの(こと)」「浄法寺PRに活かせる仙台市の誘客の工夫」について考え、子どもたちの「自分たちや地域の思いを商品に表したい」という思いをもとに『浄法寺P

R「うまいもん」プロジェクト』を立ち上げる。そして、「うまいもん」を企画したり、広告を製作したり、実際にPRする活動を展開していく。

「つかむ」「みとおす」段階では、子どもたちの「浄法寺のPRをするために、まず、浄法寺の現状を知りたい」という課題意識をもとに、保護者、地域の人々に、浄法寺の自慢やよさや課題、残していきたいことを調査する活動を行う。また、二戸市の小学生の意識調査結果の資料を見たり、保護者、地域の人々へのインタビューや地域のために様々な活動を行っている地域の方に聞き取りをしたりするなど、多様な方法で情報収集することにより、課題追究能力を育成していきたいと考える。そして仙台市を参考にして、浄法寺のよさをPRするために自分たちにどんなことができるか考え『浄法寺PR“うまいもん”プロジェクト』を立ち上げ、商品開発・販売のために必要なことを考え、計画を立てられるようにする。

「やってみる」段階では、「浄法寺のよさ伝えたい」という思いをもとに、商品を企画し、地域の業者「ほほえみ工房（パン屋）」に協力していただき商品化する活動を組む。対象が二戸市、盛岡市の一般の方々であること、浄法寺のよさをパンに表すということ、商品化できるのは一つであることなどの条件で話し合う活動や、PRの方法や場、内容を調べたり考えたりする活動を組むことにより、他者とコミュニケーションを図りながら協働的な学習の機会として生かすことができる。また子どもたちが課題を解決しようとする場面では思考ツールを活用し、比べる、分類する、焦点化する、多面的に見るなどの思考力を身に付けながら、願いを実現しようとする力を育てることができると考える。

「まとめる・ひろげる」段階では、自分たちが企画し完成した“うまいもん”を実際に販売する。パンを媒体として浄法寺のよさを積極的に伝えることにより、地域や自分たちの思いを伝える力の育成につながると考える。また『浄法寺PR“うまいもん”プロジェクト』全容を学習発表会の場で発表する。浄法寺の歴史や産業・文化に関わる人の思いや願い、自分たちの思いなど、発表する内容や構成、話し方を工夫したり適切な資料を考えたりし、自分たちが行ってきた活動をしっかり伝えられるようにする。そして完成した浄法寺PR“うまいもん”を地域の方や保護者の方にも販売したいと考える。

(2) 表現活動について

本単元では、仙台市を参考にして浄法寺をPRする方法を主体的に考え、浄法寺のよさを伝えるための企画を立てたり、子どもたちが企画した“うまいもん”を販売しながらよさを発信したりする活動を行う。他者とのコミュニケーションを図ったり思いを伝えたりする力を育成するために、地域の方のお話を聞いたり保護者や地域の方にインタビューしたりする活動、“うまいもん”を販売しながら浄法寺のよさを伝える活動を設定する。また、情報を整理し、選択する力を育成するために、思考ツールを活用し、焦点化したり多面的に見たりするなどの思考の過程を可視化する支援を行う。さらに、適切な表現方法を考え、まとめる力を育成するために、浄法寺PR“うまいもん”販売のための準備を進める場面で自分の興味や力を活かせるグループを選び、グループ間の連携を図りながら主体的に活動する場を設け、より課題の解決につなげる表現活動となるようにする。

3 単元の指導計画

(1) 単元の目標

◎新商品を開発することを通して、引き継いでいきたい「もの、こと」や地域の課題、浄法寺をPRする方法を考えることができる。

◎浄法寺のよさや地域の願い、自分たちの思いなどを積極的に伝えることができる。

○育てようとする資質・能力

<課題設定能力>

- ・浄法寺の歴史や文化、産業、自然やその現状などに興味・関心をもち、浄法寺のよさをPRするために自分たちにどんなことができるか、商品開発・販売のために必要なことは何かを考え、計画を立てることができる。

<課題追究能力>

- ・新商品を企画したり、PRの方法や内容を考えたりしながら、課題を解決することができる。

<コミュニケーション能力>

- ・自分の企画したことや伝えたいことを明確にしながらかし合い、他者と協力してよりよいものにするために合意形成を図ることができる。

<表現・発信の能力>

- ・活動内容や自分たちの思いについて、分かりやすく伝えるための方法を考え、適切な資料を作成し、発表をすることができる。
- ・浄法寺のよさや地域の願い、自分たちの思いなどを積極的に伝えることができる。

<自己評価能力>

- ・『浄法寺PR“うまいもん”プロジェクト』を通して、主体的に活動した自分自身（学び）のよさに気づき、自分や自分たちの成長を実感することができる。

(2) 単元の指導計画 (34時間)

過程	主たる活動 <評価基準>	支援
つかむ (3)	<p>○浄法寺の自慢やよさ、残していきたいこと、地域の課題などについて話し合う。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の浄法寺(人口、産業、文化…) ・浄法寺のよいところと課題 <p>○地域活性化のために活動している人の話を聞く。(1)</p> <p>○浄法寺のよさをPRするためにできることを考える。(1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に地域の人や家族に聞き取りをしたり、総合ファイルの学習シートや資料、昨年度製作したリーフレットなどを見たりすることによって、考えをもち主体的に話し合いができるようにする。 ・ゲストティーチャーには、今行っている活動と、自分が描く未来の浄法寺という視点で話をさせていただく。 ・前題材の学習や今までに体験したことを振り返ることにより、浄法寺のPRに活かせる方法や自分たちでできそうなことを考えることができるようにする。
<p>浄法寺のよさを伝える商品を開発しよう! 『浄法寺PR“うまいもん”プロジェクト』</p>		
<p>浄法寺の歴史や文化、産業、自然やその現状などに興味・関心をもち、浄法寺のよさをPRするために自分たちにどんなことができるか、商品開発・販売のために必要なことは何かを考え、計画を立てている。 (課題設定能力)</p>		
みとおす (1)	<p>○浄法寺のよさを伝える“うまいもん”開発のために必要なことを考える。(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他市町村の“うまいもん”から学ぶ。 ・浄法寺の歴史・産業・文化などをPRできるおいしいものを開発する。 ・広告、チラシ、パンフレット、ポスターなどの製作 ・PRキャラクターを考える。 ・学校HP掲載、SNSで発信 	<ul style="list-style-type: none"> ・仙台市の誘客の方法を振り返ることによって、どんな方法で伝えるのか考えられるようにする。
<p>どんな方法で課題を解決していくかを考えている。 (課題追究能力)</p>		

○浄法寺PR “うまいもん” の開発をする。

- ・他市町村の “うまいもん” を調べる。(1)
- ・現在ある浄法寺の “うまいもん” を調べる (2)
- ・自分たちの “うまいもん” を考え、プレゼンテーションの準備をする。(4)
商品名、デザイン、使う食材、PR方法など
- ・ほほえみ工房さんに試作を依頼する。(1)

・ “うまいもん” のプレゼンをし、浄法寺PR “うまいもん” を決める。(1) (本時)

○浄法寺PR “うまいもん” 販売のための準備を進める。

- ・ “うまいもん” をPRするための方法を再度確認する。(1)
- ・ “うまいもん” PRを考える。(5)

企画・営業チーム

プロジェクト全体の企画書を製作する。
うまいもんを販売できる場を探し、交渉する。

メディア宣伝チーム

メディアと交渉する。
学校のホームページに掲載する内容を考え製作する。(画像、PRの内容)

しおりチーム

うまいもんにつける浄法寺PRメッセージを考え製作する。

ちらし・ポスターチーム

ポスターを製作する。
ポスターを掲示したり、チラシを配布したり場を考え、交渉する。

PRキャラ開発チーム

製作する。

- ・意見交流し、修正する。(1)

- ・箱やパッケージ、お菓子のしおりなどを観察することにより、その地域の特色や伝えたいことを考えられるようにする。
- ・地域の商品を調べることで、よりオリジナルな新商品を作る意欲をもつことができるようにする。
- ・自分たちの思いを商品に表すために、試作品の試食を繰り返し、改善できるようにする。

- ・思考ツールを活用することによって、アイデアや思いを客観的に評価し、その結果や結果に基づく関係性を可視化できるようにする。
- ・ “うまいもん” が決まった上でPR方法を確認し、見通しが持てるようにする。

- ・自分の興味や得意なことが活かせるグループを選ぶことによって、主体的に活動できるようにする。
- ・プロジェクト全体の企画書を製作することにより、内容やスケジュールなどプロジェクト全体を見渡せるようにする。
- ・子どもたちだけでは探し出すことができない場合は担任から示す。
- ・ICT サポーターにも協力いただく。

- ・他の銘菓等のお菓子のしおりを収集し、参考にできるようにする。

- ・仙台市のイベント広告を振り返ったり、二戸市のイベントのポスターなどを調べることにより、イメージをもてるようにする。

- ・他グループと交流しながら、効果的にキャラを活かすことのできる方法を考えられるようにする。

- ・他グループと情報交換することにより、自分たちの課題を解決したり修正したり他グループとの関連を図ることができるようにする。

	<p>新商品を企画したり、PRの方法や内容を考えたりしながら、課題を解決している。〈課題追究能力〉</p> <p>自分の企画したことや伝えたいことを明確にしながら話し合い、他者と協力してよりよいものにするために合意形成を図っている。〈コミュニケーション能力〉</p>	
<p>まとめる・ひろげる (14)</p>	<p>○浄法寺PR “うまいもん” を販売する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宣伝や販売のための計画を立て練習をする。(2) ・HPに掲載する。ポスターを掲示する。ちらしを配布する。テレビやSNSで宣伝する。(1) ・販売する。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような場で販売可能か、誰がどのイベントに出向き販売するか、どのようなことを伝えるか、確認する。(テレビやSNSで宣伝、なにゃーとよ市、材木町よ市など)
	<p>○『浄法寺PR “うまいもん” プロジェクト』を地域に広める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの企画をまとめる。(4) ・まとめたことを交流し、アドバイスし合う。(1) ・交流したことをもとに、文章や資料を再構成し、発表の練習をする。(2) ・発表する。(学習発表会)(2) <p>活動内容や自分たちの思いについて、分かりやすく伝えるための方法を考え、適切な資料を作成し、発表している。〈表現・発信の能力〉</p> <p>よりよいものにするために根拠を明確にしながら自分の考えを伝えている。〈コミュニケーション能力〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会で、地域の人や保護者に自分たちの企画を紹介することを確認する。 ・これまでの国語の学習を振り返り、分かりやすく伝えることができるようにする。
<p>ふりかえる (1)</p>	<p>○活動を振り返り、地域のために自分たちができていることを話し合う。(1)</p> <p>「浄法寺PR “うまいもん” プロジェクト」を通して、主体的に活動した自分自身(学び)のよさに気づき、自分や自分たちの成長を書きまとめている。〈自己評価能力〉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・単元全体を振り返り、追究のしかたや分かったことを振り返る。 ・この学習を通し、自分ができるようになったことや、次の学習に活かせる力を考える。 ・地域の方々と協力しながら学習を進めてきたことを振り返り、これからの未来もみんなで作っていくのだということを確認する。

4 本時の指導（12/34時）

（1）目標

○浄法寺のよさが伝わる“うまいもん”を根拠をもとに考えることができる。

（2）本時の展開

過程	学習内容と活動	教師の支援
導入 (5分)	1 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;"> 浄法寺PR “うまいもん”を決める。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・「浄法寺のよさや思いが伝わる」パンを選ぶことを確認する。 ・販売対象（二戸市街や盛岡市の一般の人々など）を確認する。 ・商品化できるのは一つだけであることを確認する。
展開 (35分)	2 グループごとに自分たちが考えた“うまいもん”のプレゼンテーションをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・3つの観点「なぜこのパンにしたか」「パンに表した工夫」「PR方法」について、評価を行う。 3 全体で話し合い，“うまいもん”を決める。 <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに“うまいもん”を思考ツール（ピラミッドチャート）に並べ、比較する。 ・全体で交流し合い、より浄法寺のよさや思いが伝わる“うまいもん”はどれか話し合う。 <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツール（マトリックス）を活用し、児童が視点に沿って客観的に評価することによって、考えを明確にするとともに評価が可視化できるようにする。 ・思考ツール（ピラミッドチャート）を活用し、どの“うまいもん”が一番自分たちの思いの実現につながるか判断することによって、考えを可視化し明確にできるようにする。 ・優位性だけではなく、販売対象、伝えたいよさや思いなどを関連付けて考えたり、よりよいものにするために合意形成したりできるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> 自分の企画したことや伝えたいことを明確にしながら話し合い、他者と協力してよりよいものにするために合意形成を図っている。 〈コミュニケーション能力〉 </div>
終末 (5分)	4 本時の振り返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・伝えたいことをプレゼンテーションで伝えることができたか。 ・よりよいものにするために、根拠をもとに考えることができたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を通して、自分や友達の活動の振り返りをする。

（3）評価規準

	ねらいを達成している児童	努力を要する児童への支援	評価方法
コミュニケーション能力	<ul style="list-style-type: none"> ・浄法寺のよさや地域の願い、自分たちの思いなどが伝わる商品にするために、根拠をもとに考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・思考ツールの視点「デザイン」「キャッチコピー」のどこに浄法寺のよさがあらわれているかに目を向けられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・カードへの記述

<メモ>

A series of horizontal dashed lines for writing notes.
